

「監修・編集」
坂本悠一

立命館大学社会システム研究所上席研究員

毎日新聞外地版

昭和前期、朝鮮、満洲・大陸、台湾で発行され、
西部本社に保存されていた
毎日新聞「外地版」(一九二六年二月～一九四四年九月)を復刻。

全
84
巻

ゆまに
書房 YUMANI
SHOBU

このほど、ゆまに書房より刊行の『朝日新聞外地版』（第Ⅰ期完結・第Ⅱ期二〇一五年完結）のいわば姉妹編として、『毎日新聞外地版』の刊行を開始することになった。『毎日新聞』は、明治五（一八七二）年創刊の『東京日日新聞』（東日）を源流とし、現存する全国紙としては、最も古い歴史を有している。『東日』紙は一九二一年三月、在阪二大紙のひとつ『大阪毎日新聞』（大毎・一八七六年二月『大阪日報』として創刊され、八八年一月に改題）に合併されるが、その後も一九四三年一月まで『東日』『大毎』の紙名で、大阪毎日新聞社から発行されてきた。この点、『大阪朝日新聞』の資本蓄積により一八八八年七月『東京朝日新聞』として東京に進出した朝日の場合とは、やや趣を異にする。一九一八年のいわゆる「米騒動」後の両紙の発行部数は、尾藤貞一の推定によれば、大阪付近では、朝日がやや優勢、しかし、「九州より満、鮮（朝鮮では大毎四三、二〇〇部にたいし、大朝三三、四〇〇部）に於ける同社（毎日）の勢力は偉大」（『日本及日本人』第七三号）。このようにして、いい意味でも悪い意味でも、大阪を拠点とした朝・毎両紙は、いわゆる「追いつけ、追い越せ」競争の掛け声のもと、戦前期の二大マスメディアとして斯界に君臨し、そして「日本帝国」の植民地・勢力圏向けに「外地版」なる特異な紙面を提供しえたのも両紙のみであった。

そして両紙とも、その編集・発行の拠点としたのは、北九州の門司市に設置された「西部支社」もしくは「西部本社」であった（朝日は三七年一〇月小倉市に移転）。毎日の場合、一九二二年三月、門司に「西部連絡部」を開設、同年一月には『西部毎日』（「鮮満版」「朝鮮版」を含む）の発行を開始した。二八年七月には「朝鮮版」を「朝鮮毎日」と改題、同時に紙面を「南部版」（計八道）「北部版」（計五道）と二分割した。さらに三〇年六月、「朝鮮毎日」を「大阪毎日新聞朝鮮版」と改題、同時に二版制をABCの三版制に増版した。この間、外地の取材網としては、一九一九年一月京城支局、二三年三月北京支局、二四年九月台北支局、二五年三月大連支局、三〇年一月西鮮支局（平壤）などを開設した。なお、『大毎』本紙朝夕刊と「朝鮮版」「満洲版」を含む地方版計二二版の、門司での編集・印刷の開始は、朝日と同様一九三五年二月一日付のことであった。また「朝鮮版」（一九三九年五月より五版制に拡充）のほかにも、「満洲版」（一九三四年二月）、「台湾版」（三五年六月）、「大陸版」（三八年一月）なども発行されたようであるが、その全貌は目下精査中である。なお同社は戦後の一九六一年二月、門司の西部本社社屋火災事故により「新聞保管書庫」が焼失し、例えば一九四二年二月分の「朝鮮版」が完全に欠落している。

さて、一時は日本の三大全国紙の西部本社が置かれた「新聞都市」としての北九州・小倉、また朝・毎両紙の外地版のもつ史料価値などについては、すでに『朝日新聞外地版』の「監修のことば」で触れているのでここでは繰り返さない。最後に、朝鮮総督府の治安部局が作成した統計で、朝・毎両紙の朝鮮での発売部数を確認しておきたい。まず一九二九年に内地から移輸入された新聞のうち、『大阪毎日新聞』がトップの四八、八五三部（日本人四六、二二〇部・朝鮮人二五、六六部・他は少数の外国人・以下同様）である。これにたいし『大阪朝日新聞』が四一、五七二部（日本人三九、四五六部・朝鮮人二、〇四六部）で第二位に着けている。そして時期がやや跳ぶが、戦中期最後の調査となる一九三九年には、『大阪毎日新聞』がやはりトップの八三、三三九部（日本人六八、九五六部・朝鮮人一四、三一九部）、そして『大阪朝日新聞』が七二、八五八部（日本人六〇、二七一部・朝鮮人一二、五二七部）となっている（以上の数値は『韓國言論年表（一九一〜一九四五）』一九七三年による）。この一〇年間の部数全体の伸びもさることながら、朝鮮人読者の急増が目される。この両紙は、いわゆる「内鮮一体」という国策の片棒を担いだことがきわめて明瞭である。

毎日新聞外地版 全84巻の構成

※各巻、各版ごとの収録年月を記してあります。

※右の明朝体の数字はISBNコードです。「ISBN978-4-8433」を省略してあります。

※各巻の本体価格は、35,000円です。

配本	西暦	年号	台湾版	朝鮮版	満洲・大陸版	冊数	揃本体価格	刊行年月
第1回	1926	昭和元年		<1> 1926.12~1927.6 4274-9		全5巻	175,000円	好評発売中 2013年10月刊
	1927	昭和2年		<2> 1927.7~12 4275-6				
	1928	昭和3年		<3> 1928.1~5 4276-3				
				<4> 1928.6~9 4277-0				
第2回	1929	昭和4年		<5> 1928.10~12 4278-7		全5巻	175,000円	好評発売中 2014年2月刊
				<6> 1929.1~4 4451-4				
				<7> 1929.5~8 4452-1				
	1930	昭和5年		<8> 1929.9~12 4453-8				
				<9> 1930.1~6 4454-5				
			<10> 1930.7~12 4455-2					
第3回	1931	昭和6年		<11> 1931.1~7 4472-9		全5巻	175,000円	好評発売中 2014年6月刊
				<12> 1931.8~12 4473-6				
	1932	昭和7年		<13> 1932.1~4 4474-3				
				<14> 1932.5~8 4475-0				
				<15> 1932.9~12 4476-7				
第4回	1933	昭和8年		<16> 1933.1~4 4477-4		全5巻	175,000円	2015年6月 刊行予定
				<17> 1933.5~8 4478-1				
				<18> 1933.9~12 4479-8				
	1934	昭和9年		<19> 1934.1~6 4480-4				
				<20> 1934.7~12 4481-1				
第5回	1935	昭和10年		<21> 1935.1~5 4482-8	<23> 1934.12~1935.2 4484-2	全5巻	175,000円	2015年12月 刊行予定
				<22> 1935.6~12 4483-5	<24> 1935.3~12 4485-9			
				<25> 1935.6~12 4486-6				
第6回	1936	昭和11年		<26> 1936.1~6 4487-3	<28> 1936.1~12 4489-7	全4巻	140,000円	2016年6月 刊行予定
				<27> 1936.7~12 4488-0				
第7回	1937	昭和12年		<30> 1937.1~4 4491-0	<33> 1937.1~12 4494-1	全5巻	175,000円	2016年12月 刊行予定
				<31> 1937.5~8 4492-7				
				<32> 1937.9~12 4493-4				
第8回	1938	昭和13年		<35> 1938.1~6 4496-5	<37> 1938.1~6 4498-9	全5巻	175,000円	2017年6月 刊行予定
				<36> 1938.7~12 4497-2	<38> 1938.7~12 4499-6			
第9回	1939	昭和14年		<40> 1939.1~4 4501-6		全5巻	175,000円	2017年12月 刊行予定
				<41> 1939.5~6 4502-3				
				<42> 1939.7~8 4503-0				
				<43> 1939.9~10 4504-7				
				<44> 1939.11~12 4505-4				
第10回	//	//			<45> 1939.1~6 4506-1	全3巻	105,000円	2018年6月 刊行予定
			<47> 1939.1~12 4508-5		<46> 1939.7~12 4507-8			
第11回	1940	昭和15年		<48> 1940.1~2 4509-2		全6巻	210,000円	2018年12月 刊行予定
				<49> 1940.3~4 4510-8				
				<50> 1940.5~6 4511-5				
				<51> 1940.7~8 4512-2				
				<52> 1940.9~10 4513-9				
				<53> 1940.11~12 4514-6				
第12回	//	//			<54> 1940.1~4 4515-3	全4巻	140,000円	2019年6月 刊行予定
			<57> 1940.1~1941.12 4518-4		<55> 1940.5~8 4516-0			
					<56> 1940.9~12 4517-7			
第13回	1941	昭和16年		<58> 1941.1~3 4519-1		全4巻	140,000円	2019年12月 刊行予定
				<59> 1941.4~6 4520-7				
				<60> 1941.7~9 4521-4				
				<61> 1941.10~12 4522-1				
第14回	//	//			<62> 1941.1~4 4523-8	全3巻	105,000円	2020年6月 刊行予定
					<63> 1941.5~8 4524-5			
					<64> 1941.9~12 4525-2			
第15回	1942	昭和17年		<65> 1942.1~3 4526-9		全4巻	140,000円	2020年12月 刊行予定
				<66> 1942.4~6 4527-6				
				<67> 1942.7~9 4528-3				
				<68> 1942.10~12 4529-0				
第16回	//	//			<69> 1942.1~6 4530-6	全3巻	105,000円	2021年6月 刊行予定
			<71> 1942.1~12 4532-0		<70> 1942.7~12 4531-3			
第17回	1943	昭和18年		<72> 1943.1~3 4533-7		全4巻	140,000円	2021年12月 刊行予定
				<73> 1943.4~6 4534-4				
				<74> 1943.7~9 4535-1				
				<75> 1943.10~12 4536-8				
第18回	//	//			<76> 1943.1~4 4537-5	全4巻	140,000円	2022年6月 刊行予定
			<79> 1943.1~12 4540-5		<77> 1943.5~8 4538-2			
					<78> 1943.9~12 4539-9			
第19回 (最終回)	1944	昭和19年		<80> 1944.1~3 4541-2		全5巻	175,000円	2022年12月 刊行予定
			<84> 1944.1~9 4545-0		<81> 1944.4~6 4542-9			
					<82> 1944.7~9 4543-6			
版別の巻数と揃本体価格		●全9巻：揃本体315,000円		●全55巻：揃本体1,925,000円		●全20巻：揃本体700,000円		全84巻：揃本体2,940,000円

毎日新聞外地版 全84巻

[監修・編集] 坂本悠一

●揃定価：本体2,940,000円+税(各本体35,000円) ISBN978-4-8433-4271-8 C3300

A3判上製/函入

配本予定 (詳しくは一覧表をご覧ください)

●第1回配本●全5巻	揃定価：本体175,000円+税	ISBN978-4-8433-4272-5 C3300	既刊・2013年10月刊
●第2回配本●全5巻	揃定価：本体175,000円+税	ISBN978-4-8433-4273-2 C3300	既刊・2014年2月刊
●第3回配本●全5巻	揃定価：本体175,000円+税	ISBN978-4-8433-4279-4 C3300	既刊・2014年6月刊
●第4回配本●全5巻	揃定価：本体175,000円+税	ISBN978-4-8433-4280-0 C3300	2015年6月刊行予定
●第5回配本●全5巻	揃定価：本体175,000円+税	ISBN978-4-8433-4457-6 C3300	2015年12月刊行予定
●第6回配本●全4巻	揃定価：本体140,000円+税	ISBN978-4-8433-4458-3 C3300	2016年6月刊行予定
●第7回配本●全5巻	揃定価：本体175,000円+税	ISBN978-4-8433-4459-0 C3300	2016年12月刊行予定
●第8回配本●全5巻	揃定価：本体175,000円+税	ISBN978-4-8433-4460-6 C3300	2017年6月刊行予定
●第9回配本●全5巻	揃定価：本体175,000円+税	ISBN978-4-8433-4461-3 C3300	2017年12月刊行予定
●第10回配本●全3巻	揃定価：本体105,000円+税	ISBN978-4-8433-4462-0 C3300	2018年6月刊行予定
●第11回配本●全6巻	揃定価：本体210,000円+税	ISBN978-4-8433-4463-7 C3300	2018年12月刊行予定
●第12回配本●全4巻	揃定価：本体140,000円+税	ISBN978-4-8433-4464-4 C3300	2019年6月刊行予定
●第13回配本●全4巻	揃定価：本体140,000円+税	ISBN978-4-8433-4465-1 C3300	2019年12月刊行予定
●第14回配本●全3巻	揃定価：本体105,000円+税	ISBN978-4-8433-4466-8 C3300	2020年6月刊行予定
●第15回配本●全4巻	揃定価：本体140,000円+税	ISBN978-4-8433-4467-5 C3300	2020年12月刊行予定
●第16回配本●全3巻	揃定価：本体105,000円+税	ISBN978-4-8433-4468-2 C3300	2021年6月刊行予定
●第17回配本●全4巻	揃定価：本体140,000円+税	ISBN978-4-8433-4469-9 C3300	2021年12月刊行予定
●第18回配本●全4巻	揃定価：本体140,000円+税	ISBN978-4-8433-4470-5 C3300	2022年6月刊行予定
●第19回配本●全5巻	揃定価：本体175,000円+税	ISBN978-4-8433-4471-2 C3300	2022年12月刊行予定

本書の概要と特色

◆昭和期の「外地」の動向を知る格好の史料

『毎日新聞』が、いわゆる外地で発行した朝鮮、満洲・大陸、台湾の地方版のうち、毎日新聞社西部本社が所蔵する朝鮮版(1926年12月～1944年9月)、満洲・大陸版(1934年12月～1944年9月)、台湾(1935年6月～1944年9月)を複製する。

◆東アジア進出に伴って

日本の東アジア進出に伴って、多くの日本人が渡り、二大紙『毎日』『朝日』も外地へ販路を広げていった。そして部数の伸長、取材網の充実により1940年頃より、各地域では版が細分化され、朝鮮が最大5版、満洲・大陸が各2版に分かれるといった状況となる。

◆植民地統治

総督府や満洲国政府、本土政府が打ち出す統治政策について、各地での反応や成果が具体的に記されており、植民地統治の実態を知ることができる。さらに、各地特有の諸問題も詳述されており、地域研究に有効な史料である。また、総督府の中堅幹部、警察署長、校

長など、統治の現場にいた人物についての紹介記事も有用。

◆様々な分野の研究に

地方版である外地版は、一面の中に、政治、軍事、法制経済、産業(農業、工業、商業、運輸など)、教育、文化、スポーツ、そして犯罪、さらに生活記事、季節の話題、人物紹介など、多種多様な記事が盛り込まれている。特定の分野の研究に、また外地の地域社会の全体像の把握に、多くの情報を含んでいる。

◆二大紙並立について

購読数の統計では外地でも『毎日新聞』と『朝日新聞』は拮抗していた。両紙の記事の傾向、編集方針の違い、また、「外地版」がどのように位置づけられていたかなどは、今後の研究によって明らかにされるであろう。ただ、例えば昭和初期の両紙を細かく見てゆくと、大事件を除けば、同日の版でも全く違う記事が掲載されており、同じ事件でも視点の違う記事を掲載している。二紙を比べることで、より多くの情報を得ることができ、また、より立体的に事件や社会を捉えることが可能となる。



〒101-0047
東京都千代田区内神田2-7-6
TEL.03(5296)0491
FAX.03(5296)0493
http://www.yumani.co.jp/
e-mail eigy@yumani.co.jp

完結

朝日新聞外地版Ⅱ 1915～1935 全37巻 ●揃本体1,290,500円+税

発売中

朝日新聞外地版 1935～1945 全68巻+別巻1 ●揃本体2,285,000円+税

ゆまに書房 Tel.03(5296)0491/Fax.03(5296)0493 年 月 日

ご注文書

毎日新聞外地版

お名前

ご住所

TEL ()

取扱店

※毎度ありがとうございます。お申し込みはぜひ当店へ。

15,06/01.7000.FR